

## 第66回 岐阜県中学生選抜ハンドボール大会

兼 第21回 春の全国中学生ハンドボール大選手権大会 岐阜県予選確認事項

### 競技規則

1. 原則として2025年度（公財）日本ハンドボール協会競技規則に準ずる。
2. 競技時間は1回戦・2回戦、準決勝は20分－10分－20分、決勝は25分－10分－25分とする。同点の場合、1回戦・2回戦・準決勝は延長戦を行わず5名による7mTCとし、決勝は第1延長を実施し、それでも同点の場合は5名による7mTCとする。
3. ベンチ入りは選手16名以内とし、チーム役員は5名とする。必ず日本協会に役員及び選手登録しており、登録証を持参すること。
4. 計時は、モルテンのデジタイマー（加算式）を使用し、オフィシャル席に設置する。試合中の退場者については、上石津総合体育館はオフィシャル席に退場者No.と入場時間を書いた紙を掲示する。入場時間になったら、時計を見て入場する。GMCでは退場タイマーを使用する。
5. 試合球は男子2号級、女子1号級とする。それぞれ偶数試合の時はモルテン、奇数試合の時はミカサを使用する。
6. 優勝 準優勝 3位2チームを決定する。表彰は3位は17日、準決勝終了後に行う。優勝、準優勝については18日に本部席前で行う。
7. コーチングゾーンを設置する。役員はコーチングゾーンの範囲内で行動することができる。チームタイムアウトを採用するが、準決勝までは前後半各1回とする。決勝は競技規則に則って3回タイムアウトを取ることができる。チーム役員は、グリーンカードをオフィシャル席に置き、タイムアウトを請求することができる。
8. ユニフォームは濃淡の2着以上を用意する。チームの役員の服装は、相手チームのコートプレーヤーと同色の場合には、試合前までに必ず変更すること。
9. ユニフォームの確認とトスは前試合のハーフタイム時に、オフィシャル前に集まって行う。この時、GKも含めて次の試合に着るユニフォームと選手・役員登録証を持ってくる。第1試合のチームは試合開始30分前に行う。ユニフォーム選択の優先権は組み合わせで左側のチームにある。
10. サイクリングパンツやアンダーシャツはユニフォームの大部分を占めている色でチーム統一するのが基本であるが、チームで色が統一されていればよい。また、着用しない選手がいてもよい。靴下についてはチーム内でそろっていなくてもよい。サポーターやコルセットは試合の前までに必ず審判員に確認すること。金属が使用されている部分はおき出しになっていないこと。
11. 1名のみ指示のために立つことは許されているが、メガホンやの使用は認めない。
12. ベンチでの選手の安全・戦術的指示のため、パソコンやタブレット端末等の技術的器具の使用を認める。持ち運びができるもの（マイクロフォン、ヘッドフォン、イヤープース、スマートウォッチ、タブレットまたはノートパソコン等）の使用を認める。ただし、競技委員長や審判長に承認されない機器を使ったり、機器を使った結果としてレフリーの事実判定について質問の道具とするなど不適切な言動があったりした場合は、使用を認めない。罰則により競技場を去ったプレーヤーやチーム役員との交信も許されない。

## 申し合わせ事項

1. 靴は上下の区別をしっかりとる。下足置き場については会場の下駄箱などを使用すること。
2. 選手のハチマキは、結び目から先を短くする。つめは切っておくこと。
3. 長髪の生徒は、ゴムなどでしっかり止める。金属・プラスチック製などのピン類は使用しない。ピアスの生徒は参加を認めない。
4. 両面テープのみ使用を認める。松ヤニ、松ヤニスプレーの使用は不可とする。
5. 会場の利用や観戦について「参加チーム共通理解事項」を参照すること。
6. 部旗や横断幕は、ゴール後ろに設置しない。施設掲示物にかからないように設置すること。
7. 反則に対する称賛をしない。審判に対するアピールや暴言を発しない。
8. 水分の補給については、ベンチ内の緑のシート上とする。(コート内は認めない) 飲料水が床についた場合は、必ずふきとること。
9. 準決勝までは、試合終了後勝利チームがタイムキーパー、スコアラー、補助員の計3名と役員1名が次の試合のオフィシャルに入る。負けたチームはモップ係2名を出す。
10. 決勝戦のオフィシャルは、協会が依頼した役員が行う。
11. 指導者・チーム引率者は中学生を教育する立場にあることを意識して行動すること。
12. ゴミの持ち帰りや施設の使い方などは事前に指導を行い、各チーム徹底すること。
13. 10日、17日の第1試合は第3試合のチームが行う。ただし、飛騨地区のチームが該当する場合は、大会本部がサポートをする。
14. 得点板チーム表示は、組み合わせ表の順番に合わせて表示する。

## 7 その他

- ・その他、大会運営にかかわって検討事項が発生した場合には、県協会理事と中体連各地区専門委員長で話し合って決定する。
- ・この大会は、春の全国中学生ハンドボール選手権大会の県予選会を兼ねており、男女優勝チームには令和7年度の春の全国中学生ハンドボール選手権大会全国大会に出場する権利を与える。  
詳細に関しては、インターネットにて「春の全国中学生ハンドボール選手権大会」と検索すること。
- ・前年度優勝・準優勝のチームは監督者会議に、優勝旗・準優勝盾を6日の監督者会議に持ってくる。

	優勝	準優勝
男子	グーテ クンペルス	大垣市立興文中学校
女子	キャロットアヴニール	笠松町立笠松中 岐阜市立陽南中

- ・10日、17日各チーム役員1名は、大会運営役員として、8:00に会場に入り、会場準備をお願いします。さらに、大会中は記録、TDなどの役割を担ってください。

## 【参加チーム共通理解事項】

2つの会場を利用します。施設に迷惑をかけないため、並びに多くのチームが気持ちよく使えるように以下のことをチームで意識してもらっていただくよう周知徹底をお願いします。

	大垣市 上石津総合体育館	GMC で愛ドーム
開場時間	8:30	8:30
控え場所 荷物置場	・観覧席とする。 ・各チームおよび各自、荷物をまとめ多くのチームが使える環境にする。	・体育室とする。 ・各チームおよび各自、荷物をまとめ多くのチームが使える環境にする。
アップ会場	・会場外の駐車スペース ・フロア、オフィシャル席と逆側のスペース。ただし、ボールの使用禁止、発声の禁止。 ・該当試合前の試合のハーフタイムのフロア	・体育館前、噴水広場 ・体育室の空いたスペース。ただし、ボールの使用禁止。 ・該当試合前の試合のハーフタイムのフロア
観覧席	・観覧席の最前席は応援席とし、試合チームの関係者が優先的に利用できるようにする。	・コートサイドに応援席を設置する。 試合チームの保護者が優先的に利用できる。
飲食	・試合を行うフロアでは飲料を飲むのみとする。こぼした場合はこぼしたチームの責任でふき取ること。 ・昼食等は、観覧席または会場外で行う。	・試合を行うフロアでは飲料を飲むのみとする。こぼした場合はこぼしたチームの責任でふき取ること。 ・昼食等は、体育室または会場外で行う。
応援方法	・太鼓を叩いての応援やペットボトルを使用しての応援を認める。ただし、施設やその備品を叩くことはしない。	・太鼓やペットボトル等器具を使っの応援は認めない。フロアと応援席が隣接しており、審判の笛が聞こえないなど試合への影響が大きいと考えられるため。

## 観戦におけるお願い

- ◇中学生の選手が一生懸命プレーをしています。相手チームに対する誹謗中傷や自チームの危険な反則行為に対する賞賛はおやめください。
- ◇以前の諸大会において、審判の判定に対して、観覧席からの抗議や誹謗中傷がありました。審判員をしている方は、審判講習会を受講していただき、審判技能の向上に努めていると共に事実をもとに公平にジャッジを行うよう努めていただいている要にしています。審判への誹謗中傷はおやめください。
- ◇ペットボトル等を叩いての応援は認められますが、ペットボトル等で施設やその物品を叩くことはしないでください。施設等を破損させてしまった場合、破損させた方の責任でのご対応をお願いします。
- ◇GMCで愛ドームでは、試合を行うフロアに観覧席を設けます。座席数が多くはないので自チームの試合が終わりましたらすばやく次のチームに席をお譲りください。また、試合の円滑な運営のため、観覧席に座っての観戦をお願いします。
- ◇GMCで愛ドーム2階の観覧席は今回使用できません。ただし、自チームのビデオ撮影であれば各チーム1名は入れるようにします。大会本部までチーム代表者の方が許可証を取りに来てください。